

ANNUAL REPORT 2022

YUMINO medical

〒171-0033 東京都豊島区高田3-14-29 KDX高田馬場ビル2F

TEL 03-5956-8010 FAX 03-5950-0108

ゆみのハートクリニック

〒171-0033
東京都豊島区高田3-14-29
KDX高田馬場ビル1F

ゆみのハートクリニック 渋谷

〒150-0031
東京都渋谷区桜丘町25-18
NT渋谷ビル2F

ゆみのハートクリニック 三鷹

〒181-0012
東京都三鷹市上連雀2-2-1
ネベル三鷹2F

ゆみの訪問看護ステーション

〒161-0034
東京都新宿区上落合2-9-16
インテック落合207

ゆみの在宅医療・管制塔センター

〒151-0051
東京都渋谷区千駄ヶ谷3-51-10
PORTAL POINT HARAJUKU 701

のぞみハートクリニック

〒532-0003
大阪府大阪市淀川区宮原3-5-36
新大阪トラストタワー1F

のぞみハートクリニック 天王寺

〒543-0051
大阪府大阪市天王寺区四天王寺1-14
伊藤ビル

わかばハートクリニック

〒810-0073
福岡県福岡市中央区舞鶴3-9-39
福岡舞鶴スクエア1F





医を通して、その人らしいLIFEを。

2022年、当法人は創立10周年を迎えることができました。皆様のご支援、ご厚情に心より御礼申し上げます。これまで、東京・大阪・福岡に拠点を設け、より多くの方々の「その人らしいLIFE」をサポートしてまいりました。また、COVID-19の感染拡大が収まらない中、「ゆみの在宅医療・管制塔センター」の機能を活かした遠隔医療を充実させ、企業への健康支援から在宅医療まで、いつでも、どこからでも地域にお住まいの方々が安心して過ごすことができるよう取り組んでまいりました。今後も一人ひとりのLIFEを大切にしながら、さらに質の高い地域医療をめざしてまいります。

医療法人社団ゆみの 理事長 弓野 大

理事長プロフィール

弓野 大

東京都出身、順天堂大学医学部卒業。東京女子医科大学病院循環器内科入局、カナダ・トロント大学に留学、心不全患者を主とした治療・ケアを行う。心臓病を含めた障害をもつ人々が安心して住み慣れたところで過ごせる社会づくりに貢献するため、2012年「ゆみのクリニック」を開院。2022年現在、東京・大阪・福岡に外来と在宅診療を行う診療所を5拠点運営する。社会活動として、日本循環器協会理事、日本心臓病学会理事、Japan Cardiology Clinic Network事務局を務めるなど、地域での循環器医療発展のために活動を行っている。

法人理念

その人らしい人生を

わたしたちは、医を通して、その人らしい人生をサポートします

チームとともに

わたしたちは、社会的使命を自覚し、ひとりひとりがチームとともに成長します

未来へむかって

わたしたちは、変化を楽しみながら、未来へむかってチャレンジします

医療法人社団ゆみのは、地域で外来と在宅での医療を行う総合内科クリニックを運営しています。

- 外来診療
- 訪問看護
- 訪問診療
- 訪問リハビリテーション



のぞみハートクリニック
〒532-0003
大阪府大阪市淀川区宮原3-5-36
新大阪トラストタワー1F



のぞみハートクリニック 天王寺(2023年6月開院予定)
〒543-0051
大阪府大阪市天王寺区四天王寺1-14
伊藤ビル



わかばハートクリニック
〒810-0073
福岡県福岡市中央区舞鶴3-9-39
福岡舞鶴スクエア1F



医療法人社団ゆみの
〒171-0033
東京都豊島区高田3-14-29
KDX高田馬場ビル2F



ゆみのハートクリニック
〒171-0033
東京都豊島区高田3-14-29
KDX高田馬場ビル1F



ゆみの訪問看護ステーション
〒161-0034
東京都新宿区上落合2-9-16
インテック落合207



ゆみのハートクリニック 渋谷
〒150-0031
東京都渋谷区桜丘町25-18
NT渋谷ビル2F



ゆみの在宅医療・管制塔センター
〒151-0051
東京都渋谷区千駄ヶ谷3-51-10
PORTAL POINT HARAJUKU 701



ゆみのハートクリニック 三鷹
〒181-0012
東京都三鷹市上連雀2-2-1
ネベル三鷹2F

オンライン診療をセンター化。

「管制塔センター」で在宅医療を遠隔支援

「ゆみの在宅医療・管制塔センター」は、需要が増え続ける在宅医療を支える拠点となっています。

当法人開設当初より、かかりつけ患者さん向けに各拠点で行われていた遠隔看護システムを、2021年7月、東京都渋谷区にセンター化。看護師を中心とした医療スタッフが、ICTを駆使して患者さんを24時間365日サポートしています。

管制塔センターでは、看護師により、電話やメール、ビデオ通話での対応を行うほか、最新の遠隔モニタリングを用いて、一人ひとりの細かな体調を把握しています。また、患者さんのご家族だけではなく、地域の医療介護職の方々との連携を行いながら、適切な医療提供をめざしています。



九州初の拠点を新設。

「わかばハートクリニック」を福岡に開院

2022年6月、福岡市中央区に「わかばハートクリニック」を開院いたしました。

新たに開院した「わかばハートクリニック」の院長には、これまで東京の「ゆみのハートクリニック」で診療に携わっていた九州出身の武居講師が就任しました。「患者さんの幸せを叶えるには、病院だけではなく、地域や生活の場で療養をサポートする体制が必要」という熱い想いから、「ゆみのハートクリニック」で地域医療を学び、福岡での開院に至りました。当法人が積み上げた地域医療のノウハウを福岡の地に根付かせることで、安心して暮らせる地域づくりを進めてまいります。



院長プロフィール

武居 講

循環器専門医・認定内科医

九州大学医学部卒業。済生会福岡総合病院にて初期・後期研修（循環器内科）を修了し、九州大学循環器内科へ入局。九州大学大学院を経て、九州大学病院循環器内科で勤務。その後福岡県済生会二日市病院循環器内科で医長を務めた。心不全を中心とした幅広い診療を行う中で、望む生活を送ることができない多くの患者さんを目の当たりにし、かねてより在宅医療の可能性、重要性を感じていた。当院では「フットワーク軽く」をモットーに、皆さまの自分らしい生活を支えるべく診療を行う。

さらなる質の向上をめざして。

「医療DX」を推進

デジタルとアナログを融合させ、その人らしいLIFEをサポートしています。

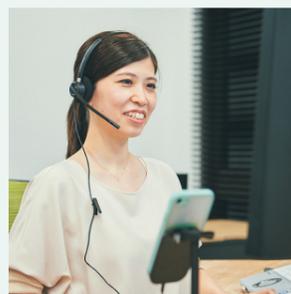
当法人では管制塔センターを中心に医療DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進しています。医療提供体制をさらに充実させ、地域医療の未来を創造してまいります。ここでは、2022年に導入したシステムの例をご紹介します。

■ 音声認識システムの導入

ソフトフォンの導入によって、PCやスマートフォンで固定電話回線を利用した通話が可能となり、いつでも、どこからでも、患者さんや地域の医療関係者とのやりとりができるようになりました。また、音声認識システムにより患者さんとの通話内容をリアルタイムに可視化して履歴を記録。診療内容を振り返るとともに、看護師の対応の質向上に役立てています。さらに、収集した情報はデータマイニングを行い、患者さんの増悪予測への活用もめざしています。

■ デジタル心不全手帳の導入

心不全手帳をデジタル化し、かかりつけ患者さんに無料で提供しています。これによって、患者さんに記録していただいた日々の体調を、管制塔センターの看護師が把握することができます。また、必要に応じてチャットやビデオ通話を利用し、よりスムーズに連絡がとれるようになりました。



地域の皆さまに愛されるクリニックであり続けるために。

「健康づくり」をテーマに地域貢献

東京・神奈川での地域行事に参画し、健康づくりをお手伝いしています。

6月に東京都豊島区で、町内会からのご要望を受け、当法人の理学療法士が講師となり、ご高齢の方向けに転倒予防対策講座を実施しました。「町内会ではコロナ禍になってから初の行事となり、とても盛り上がりました」と、ご好評をいただきました。

10月には、東京都渋谷区の高齢者福祉施設でのお祭りで、健康相談・体力測定のブースを出展し、地域住民の方々約200名にご来場いただきました。神奈川県横浜市で行われたウェルネスサービス実証イベントにも参加し、健康講座・健康相談を行いました。

これらの経験を活かし、企業ともタイアップして、地域の健康づくりのイベントに積極的に参画しております。医療機関として医療を提供するだけでなく、地域や社会に貢献できることを実行してまいります。

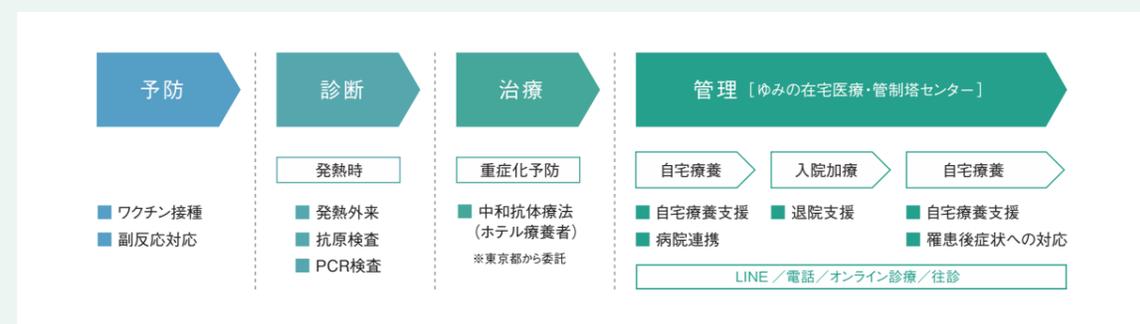


行政と連携し、重症化予防に注力。

新型コロナウイルス感染症への取り組み

2020年以降、地域医療機関として新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対応を続けてまいりました。変異株が出現し、感染の「波」が複数回発生する中で当法人が2022年に行った取り組みをご紹介します。

当法人は、4つのフェーズで新型コロナウイルスへの対応を行っています。



■ ワクチン接種

各院において、外来ではかかりつけ患者さんや地域の方を対象に、また在宅では訪問診療を行っている患者さんを対象にワクチン接種を実施しています。また、職域接種にも協力し、これまで約3万5,000回の接種をいたしました。各企業と話し合いながら、会場レイアウトや必要な物品整備などの準備段階から関わったほか、ワクチン接種後のアフターフォローとして、無料通信アプリ「LINE」を使用した副反応相談、必要に応じてオンライン診療を行いました。



■ 東京・大阪・福岡でオンライン診療に対応

コロナ感染拡大を受け、厚生労働省は2020年4月、「時限的・特例的な対応」として初診のオンライン診療を解禁しました。当院においても、発熱や風邪症状のある患者さんに対してオンライン診療を実施しており、2022年は1,029件のオンライン診療を行いました。2022年7月頃から感染者数が全国的に急増した第7波の状況下では、東京・大阪・福岡と各拠点のオンライン診療をセンター化し、より多くの受け入れを可能としました。

■ 管制塔機能を活かした遠隔管理

自宅療養者に対し、渋谷区にある「ゆみの在宅医療・管制塔センター」では、医師や看護師により、ICTを用いた遠隔支援を行っています。保健所からの要請で自宅へ往診した方や発熱外来へ来院した方、提携企業の職員に対して、LINEを用いたコミュニケーションをベースに、必要に応じてオンライン診療を実施しています。

■ 発熱外来／時間外発熱外来

2020年より、各院において発熱外来を設置しています。他の患者さんとは時間的に隔離し、PPEをはじめ万全な感染対策を行った上で検査・治療を実施しています。2022年の第7波における感染者急増時には、「ゆみのハートクリニック 渋谷」において夜間時間外に発熱外来を設置しました。21時から24時まで受付可能とし、これまで272名が来院しました。また、同年6月に開院した福岡の「わかばハートクリニック」では、第7波に合わせて日曜・祝日に発熱外来を設置し、127名が来院しました。

■ 宿泊療養施設への往診と中和抗体療法を実施

当法人は2021年9月より、東京都からの委託を受け、宿泊療養施設への往診と中和抗体療法を実施しております。発症7日以内で、重症化リスクを有する、酸素投与を要さない方などに実施し、2022年は1,858名に投与を行いました。また、2022年1月の第6波における感染者増加時からは、東京都内の宿泊療養施設への往診やオンライン診療を開始し、2022年は730件の往診を実施しました。



高田馬場からスタートし、計8拠点まで拡大。

創立10周年を迎えた当法人の歩み

2022年9月25日、「ゆみのハートクリニック」は開院10周年を迎えました。これもひとえに地域の皆さま、関係者の皆さま、そして一緒に働くスタッフのおかげです。これまでの10年の歩みをご紹介します。今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

<p>2012 ゆみのハートクリニック 開院</p>	 <p>9月25日、東京・高田馬場に開院。弓野理事長の地元新宿に近く、これまで働いていた東京女子医科大学病院からも近隣であることにより選ばれました。2018年に着任した田中院長を筆頭に、地域に根ざした医療に取り組んでいます。</p>
<p>2014 医療法人社団ゆみの 設立</p>	 <p>医を通して、時代のニーズに沿った社会貢献を实践するために、法人を設立しました。この翌年には、ゆみのハートクリニックの2階に新オフィスを開業。入口には記念写真がずらりと並んでいます。</p>
<p>2015 訪問リハビリテーション事業 開始</p>	 <p>当初2名からスタートした訪問リハビリテーション部は、現在40名で稼働しています。「その人らしい生活」を送れるよう、運動や活動、コミュニケーションや食事など、さまざまな面からサポートしています。</p>
<p>2017 訪問看護事業 開始</p>	 <p>在宅での心不全ケアにより力を入れるため、訪問看護事業をスタート。心臓術後の早期退院をめざした取り組みや、地域の介護職との心不全ケア連携などを通して、患者さんの「自宅で過ごしたい」という想いを実現してきました。</p>
<p>2018 のぞみハートクリニック 開院</p>	 <p>岡田院長の地元である大阪の中心地・新大阪駅前が開院。「のぞみ」という名前は、鉄道好きの院長によって新幹線の列車名からつけられました。</p>
<p>2019 ゆみのハートクリニック 渋谷 開院</p>	 <p>3つ目のクリニックを東京・渋谷に開院。渋谷在住で区民への愛にあふれる鮫島院長は、2020年、コロナ禍で真っ先に感染者への24時間往診体制を率いました。</p>
<p>2020 ゆみの訪問看護ステーション 開設</p>	 <p>「ゆみの訪問看護ステーション」を新宿・上落合に開設しました。これまで蓄積してきた地域のホームドクターとしての知見を活かし、他の医療専門職と連携しながら、一人ひとりに寄り添う訪問看護を展開しています。</p>
<p>2021 ゆみのハートクリニック 三鷹 開院</p>	 <p>西東京の広範囲を担う鈴木院長は、弓野理事長と医師1年目からの同期。多くの重症心不全患者の在宅医療を行っています。</p>
<p>2021 ゆみの在宅医療・管制塔センター 設立</p>	 <p>東京・千駄ヶ谷に、当院のかかりつけ患者さんに対して24時間365日体制で遠隔看護を行う「ゆみの在宅医療・管制塔センター」を新設。</p>
<p>2022 わかばハートクリニック 開院</p>	 <p>福岡に開院。「わかば」という名前には、「福岡の地に新しい地域の医療の形を根付かせ、いつまでも初心を忘れず歩み続ける」という武居院長の想いが込められています。</p>

外来診療

管制塔機能によるセンター化などを通して、
オンライン診療体制を強化しました。



総外来件数
(法人合算)

40,877件

[2020年：31,651件 / 2021年：35,123件]



オンライン診療件数
(法人合算)

350件

[2020年：424件 / 2021年：481件]

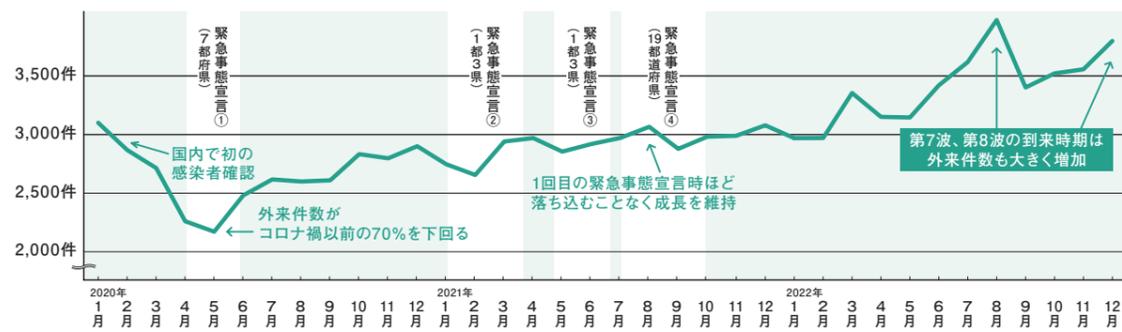


CPAP
管理台数

1,338台

[2020年：1,317台 / 2021年：1,337台]

コロナ禍における外来件数の推移 (法人合算・月単位)



訪問診療

訪問診療の充実をはかることで、患者さんの
「自宅で過ごしたい」という想いをサポートしています。

在宅管理患者数
(法人合算) ※2022年12月現在

3,058名

[2020年：1,867名 / 2021年：2,450名]



居宅

86.6%



施設

13.4%



訪問診療件数

38,832件

[2020年：20,764件 / 2021年：32,104件]



往診数 (緊急・夜間を含む)

4,851件

[2020年：3,015件 / 2021年：3,626件]



補助人工心臓取り扱い件数

11件

[2020年：6件 / 2021年：9件]



在宅心エコー図検査実施件数

335件

[2020年：501件 / 2021年：356件]

再入院率

3.7% [2020年：2.8% / 2021年：4.2%]

※全入院数÷各月初めの患者管理数の和

看取り数

491件 [2020年：314件 / 2021年：320件]

訪問看護

さまざまな医療専門職と連携し、
暮らしに寄り添った訪問看護を行っています。



訪問看護利用者数

90名

[2020年：104名 / 2021年：130名]



訪問件数

6,023件

[2020年：5,654件 / 2021年：7,783件]



オンコール対応件数

1,707件

[2020年：836件 / 2021年：984件]

訪問リハビリテーション

住み慣れた環境で安心してリハビリを。
件数は2年で大きく増えています。



訪問リハビリテーション件数

22,445件

[2020年：17,903件 / 2021年：20,393件]

- 理学療法：19,458件
- 言語聴覚療法：840件
- 作業療法：2,147件

オンライン
リハビリテーション件数

29件

[2020年：40件 / 2021年：66件]

スタッフ体制

多職種のスタッフが連携する
チーム医療により、安心を届けています。

スタッフ総数 ※2022年12月時点 非常勤を含む

358名

[2020年：243名 / 2021年：306名]



医師 ※常勤・非常勤
83名

[2020年：55名 / 2021年：66名]



専門科目
27科目

[2020年：19科目 / 2021年：19科目]

総合内科専門医、循環器専門医、高血圧専門医、呼吸器専門医、
日本睡眠学会専門医、神経内科専門医、脳卒中専門医、精神科専門医、
糖尿病専門医、外科専門医、リハビリテーション科専門医、
アレルギー専門医、日本認知症学会専門医、日本抗加齢医学会専門医 など



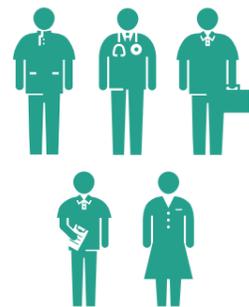
看護師 ※常勤・非常勤
57名

[2020年：37名 / 2021年：47名]



慢性心不全看護認定看護師
5名

[2020年：4名 / 2021年：4名]



リハビリテーション 36名 [2020年：25名 / 2021年：31名]
[理学療法士 / 作業療法士 / 言語聴覚士]
臨床検査技師 31名 [2020年：26名 / 2021年：26名]
医療ソーシャルワーカー 17名 [2020年：9名 / 2021年：11名]
医療事務 [外来 / 訪問] 40名 [2020年：32名 / 2021年：40名]
訪問診療コーディネーター 38名 [2020年：23名 / 2021年：34名]
訪問診療ドライバー 11名 [2020年：9名 / 2021年：12名]
管理栄養士 6名 [2020年：3名 / 2021年：3名]
本部およびその他 39名 [2020年：24名 / 2021年：36名]



心不全療養指導士 資格所有者 20名 [2021年：16名]

働く環境

オンとオフのバランスを保って働けるよう、
職員の声を大事にしながら、福利厚生や各種制度を整備しています。



離職率 ※2022年常勤退職者数+
2022年4月時の常勤数
6.3%



育休取得者
16名



時短勤務者
8名



管理職男女比
10:11
男性 女性



学会活動ほか

私たちの手が届かない地域の医療の一助となるよう、
知見を広く発信する活動を大切にしています。



学会発表数
76回 [2020年：45回 / 2021年：75回]

主な学会登壇履歴

- 日本循環器学会
- 日本心不全学会
- 日本心臓病学会
- 日本小児循環器学会
- 日本心臓リハビリテーション学会
- 日本人工臓器学会
- 日本在宅医療連合学会
- 日本緩和医療学会
- 日本睡眠学会
- 日本神経学会
- 日本呼吸器学会
- 日本集中治療医学会



メディア

- NHK Eテレ TVシンポジウム「心臓病を“見える化”する～リスク発見・予防の新常識～」
- 日本テレビ「24時間テレビ」
- 産経新聞「健康教室」
- 韓国放送(KBS)「生老病死」